

# 英語の発音と発音記号

## なぜ発音記号？

英語は、24の子音と約15の母音を使い分けています。これは日本語が使い分ける音よりもずっと多く、当然のことながら日本語の音(カタカナなど)に置き換えて覚えることはできません。しかも、英語ではつづりで発音が決まらないので(たとえば **hood**と**food**、**heart**と**heard**は子音だけでなく母音も違います)、つづりで発音を感じるわけにもいきません。発音記号を知らずに英語を発音できるようにしようというのは、数字を学ばずに四則計算を学ぼうとするようなものです。



## 母音篇 I 単母音

〈heatとhit、poolとpullはどう違う?〉

### 唇の緊張度と開口度の違い (+長さの違い)

日本語の「跡」と「アート」、「靴」と「苦痛」のように、長さだけが異なる母音の区別は、英語では基本的に用いけません。**heat**、**pool**の母音と**hit**、**pull**の母音は、長さも違いますが、前者の方が唇に強い緊張があり、それに伴って開口度が下の図のように変わる点が重要です。

### 舌の前の方を上げる母音

[i:]	heed	beat	開口度 ↑ 小 ↓ 大
[ɪ]	hid	bit	
[e]	head	bet	
[æ]	had	bat	

### 舌の後ろの方を上げる母音

[u:]	who'd	boot	開口度 ↑ 小 ↓ 大
[ʊ]	hood	book	
[ɔ]	hawed	bought	
[ɑ]	hod	bot	

### 舌の中央を上げる母音

[ə]	hurt	bird
[ʌ]	hut	bud

### 母音の開口度と舌の高くなる位置



## 〈比べてみよう〉開口度の大きい3単母音

	舌を上げる位置		
[æ]	hat	bat	前
[ʌ]	hut	but	↑ ↓
[ɑ]	hot	bot	



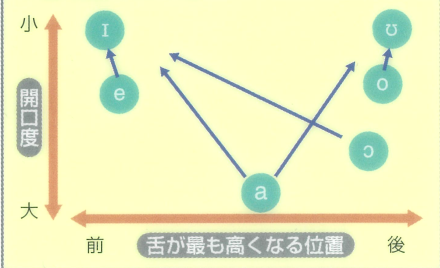
## 母音篇 II 二重母音

〈Iと「愛」、oweと「負う」はどう違う?〉

英語：最初の母音中心 (舌の移動)  
日本語：2つの母音が同じ比重で並ぶ

[eɪ]	hay, bate		
[aɪ]	high, bite	[aʊ]	how, bough
[ɔɪ]	hoist, boy	[oʊ]	home, boat

### 二重母音の舌の動き



### 英語のアクセントとリズム

日本語のアクセントは音の高低(ピッチ)を使いますが、英語のアクセントは音の強弱(強勢)を使います。そして、英語ではアクセントのある音節とない音節が交互に現れることでリズムが作られ、アクセントのある音節が近接して現れることを避ける傾向があります。このため、以下のような現象が起こります。

(1) 2つのアクセントの間の無アクセントの音節は、弱く速く読まれます。

The **mán** will **kíck** the **bá**ll.

The **mán**'s **g**oing to **kíck** the **bá**ll.

(2) アクセントのない音節の母音は[ə]になる例も多く見られます。

[ə] **compúte** cf. [ɑ] **còmputatíon**

(3) 次の語のアクセントが直後に続く場合、単独の語として読まれる場合とアクセントの位置が変わることがあります。

She is **Japánése** vs. a **Jápanése wóman**

### 実際の発音を聞いて練習しよう

<http://today.tv/contents-list/lecture/english-practice/01>

<http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/eigo/hatsuon/index.html>

上記のURLでこの教材に基づいて実際に英語が発音されている映像を視聴することができます。

### 参考文献〈英語の音に興味を持った人へ〉

竹林滋・斎藤弘子。(2008).『新装版 英語音声学入門』。東京：大修館。

Ladefoged, P., & Johnson, K. (2015). *A course in phonetics* (7th ed.). Stamford, CT: Cengage Learning.

(いずれもかなり専門的ですが、「英語で勝負する」という人には必ず役に立ちます。どちらもCDがついているので音を聞くこともできます。)





# 子音篇 I

## 閉鎖音・鼻音・摩擦音



### 閉鎖音 (破裂音)

[p]	pea, pie	[b]	bee, buy
[t]	tea, tie	[d]	D, dye
[k]	key, kite	[g]	geese, guy

無声閉鎖音 ([p][t][k]) は、アクセントのある音節の初めにあるとき、強く息を吐くように発音されます(帯気音)。(帯気がないと英語では有声音([b][d][g])に聞こえるので注意が必要です。)



### 鼻音

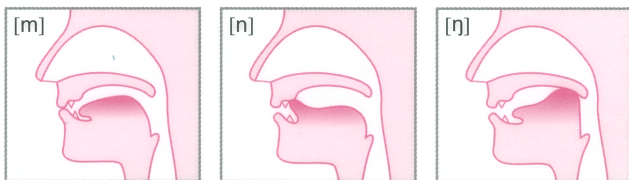
[m]	mom/mum, mime
[n]	none, nine
[ŋ]	sung, ring

語末に鼻音が現れる場合の区別は、日本語話者には難しく感じられます。

[m] sum, ram    [n] sun, ran    [ŋ] sung, rang

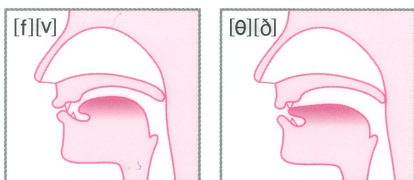
また日本語の「ん」は母音の前では舌がどこにもつかない(そのため「本を」のように音の連結が起こらない)のですが、英語では[m]は両唇を、[n]は舌先を歯茎に、[ŋ]は舌の奥を口の奥(軟口蓋)に、つけて発音します。このため、次に母音が続けば音の連結が起こります。

some apples, nine apples, sing a song



### 摩擦音

[f]	feet, fine	[v]	veal, vine
[θ]	theme, thigh	[ð]	these, thy
[s]	seat, sigh	[z]	zeal, zig
[ʃ]	sheet, shine	[ʒ]	genre, measure
[h]	heat, high		



[θ]は、日本語の外来語としては、多くの場合サ行子音で表記されますが(例: サード)、実際にはむしろ[f]との聞き分けが難しいことに注意して下さい。

[f] fie, fought, free    [θ] thigh, thought, three    [s] sigh, sought  
[s]と[ʃ]は、日本語ではイ・エの母音の前で区別しませんが(外来語を除く)、英語ではすべての母音の前で区別があるので注意が必要です。

[s] seat, sip, said    [ʃ] sheet, ship, shed



### 破擦音

[tʃ] choke, church    [dʒ] joke, judge

[ts][dz]という子音の連鎖も破擦音になります。日本語(共通語)では、シとチ、スとツは区別されますが、ジとヂ、ズとヅの区別がないため、[ʒ]と[dʒ]、[z]と[dz]の区別が難しくなります。

[ʒ] pleasure    [dʒ] pledger  
[z] cars    [dz] cards



# 子音篇 II

## 接近音(渡り音・流音)



### 渡り音

[j] young, yet  
[w] one, wet



〈earとyearはどう違う?〉



語頭の子音の有無

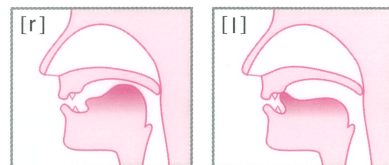
日本語では、これらの子音は限られた母音の前でしか用いられません。そのため、特に[j]が[i:] [ɪ]の前にある場合、[w]が[u:] [ʊ]の前にある場合は、[j][w]がない場合との区別が難しく感じられます。

[j] yeast, year    子音なし east, ear  
[w] woozy, woman    子音なし oozy, umlaut



### 流音

[r] read, rate, right  
[l] lead, late, light



[l]は、子音の前、あるいは語末にある場合、舌の奥が高くなり、[u:] [ʊ]などの母音に近い響きを持ちます。

milk, hill, result



〈赤ちゃんは[r]と[l]も聞き分ける?〉



母語で使わない音の聞き分けは、外国語学習者にとっては頭痛のタネ。日本語話者にとっては[r]と[l]など、その典型ですが、生後間もない赤ちゃんは、母語で使わない音の区別もできることが、実験でわかっています。生後6ヶ月くらいでは区別できる音が、生後8~12ヶ月くらいまでに区別できなくなるのです。発達とは、自分の環境に必要な能力を取捨選択していく過程なのだと考えられています。

(Werker, J. E., & Tees, R. C. (1984). Cross-language speech perception: Evidence for perceptual reorganization during the first year of life. *Infant Behavior and Development*, 7, 49-63.)

発音記号は、辞書や教科書によって細部が異なるシステムを使っています。辞書では巻頭あるいは巻末の「凡例」などに説明があります。また、英米豪の違いなど、「方言」による発音の差もあります。この説明書では省略してあります。